

IoTで実現する、 大型車も建機も重機も入庫できる頼れる工場



最新設備の自動車整備工場

実施事業 ▶ 鈑金修理車の短納期化と高精度高機能型整備の探索・追求と実施

有限会社ワークショップアライ

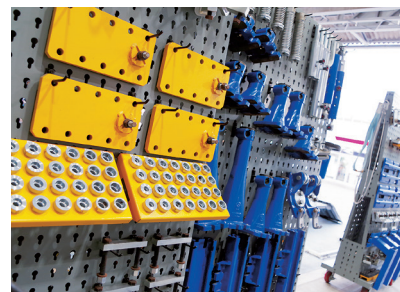
企業情報

〒979-2611 福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字狐作 24-1 ☎ 0244-62-3139 FAX 0244-62-3133
E-mail workshop@bb.soma.or.jp

事業者名 ▶ 代表取締役 荒井 宏治
設立年月 ▶ 2003 年 12 月 資本金額 ▶ 550 万円 従業員数 ▶ 5 人

会社概要

平成 15 年 12 月、当社が設立されました。荒井自動車株式会社（相馬市中村）が受注する鈑金修理の内製化を担い、連携を図ることが目的です。ルーツは明治 11 年創業の鍛冶屋です。工作機械の普及につれて鉄工場を営み、昭和を迎えると車の修理を手掛け、やがて戦後はモータリゼーションの進展とともに歩んできました。相双地域に根ざし、より先進的な技術とサービスを提供するため IoT を積極的に活用。さまざまな機械設備の導入も進め、自動車整備工場の先駆的な経営モデルを指向しています。



自社カラーを打ち出して広げる顧客層

技術の進化を体感できる魅力ある職場を創ろう



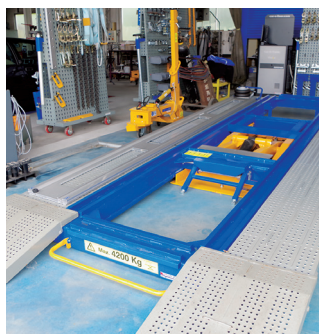
サービスの生産性向上を図る

自動車修理の技術は高度化、ハイテク化しています。IoTの発想に基づく機械装置も普及しつつあります。さまざまな最新要素を積極的に取り入れ、正確かつ効率的な作業に徹することで、お客様が心から望む的確なサービスと、当社の独自性が表れるサービスとの両立が可能です。新たな顧客層へのアプローチ、商圈を拡げること、顧客満足度の向上、タスク実行プロセスの改善など、視点は広がります。

現場では、需要と供給のアンバランスが生じがちです。入庫が続くものの、なかなか工程が進捗せず修理が追い付かないからです。ベテランが定年退職して若手との世代交代が進んでも、鈑金という世界では成長するまで相当な場数・年数を要するため、人材の育成も課題です。だからこそ時代にマッチした職場づくり、大型車へも対応できる態勢を整えようと考えました。

未来への投資、という意図も込めた機械や装置

相双で初・フロア集塵システムも営業の強みに



高精度計測器付フレーム修正機

フレーム修正機は2タイプです。車高の低い車種に適する、ベンチラックピット式。大型で車高の高い車種には、ベンチラック床上げ式で対応できます。これらが、カートロニックビジョン2×3計測システムと連動。高精度な鈑金修理を可能にします。専用アタッチメント治具は連結パターンも多く、車両の固定や修正に便利です。

メジャリングシステムは、高精度なダメージ計測と修復をアシストします。ボディー鋼板の素材寸法に関するビッグデータへアクセス。カートロニックビジョン画面を介して最新メーカー情報が届き、正確な作業ナビを行います。

相双地区では初、大型車が入庫できる塗装設備（フロア吸塵システム）も整えました。グレーチングの長さ14m・左右2.6mで、道路運送車両法で定める大型車両＝全長の最大12mが収まります。使用する塗料は、ほぼ水性。クリーンな作業環境と省エネ・静音を追求した構造です。

入庫後のメソッドも実践指向でハイテク化

独自ノウハウをPR、受注増と人財確保へ

このほど現場に加わったフレーム修正機は、高精度コンピュータボディーアライメント計測システムの応用です。自動運転システムを搭載した車両など、クルマの進化に伴う整備メニュー高度化に対応、中長期的に実用価値を高めていけると確信しました。

これからの鈑金修理は「車両固定→修理前の計測データ保存および修正→修正データ保存→完成」という手順を踏み、生産性が大幅にアップします。おなじ程度の修理なら、12時間を費やしていたのが6時間で済むようになりました。ダメージが大きいほど新手法だと効率が良く、精度が格段に向上したケースも。この機に、オートボディープリンターの使用を検討中です。

大型車への塗装に関しては最大長12mまで対応できます。入庫している他車へ粉塵、塗料噴霧が降り掛かりません。こうした作業を担う工場が周辺地域には見当たらず、ディーラーや重機取り扱い会社へのPRが進めば受注が増え、新たな雇用も生み出せます。



大型車対応で新たなニーズに応える

商圈分析を踏まえ、地元への周知と浸透を図る

輸入車・高級スポーツカーは広域から受け入れ



より身近でサービスに見合った価値を提供

当社の商圈は新地町・相馬市・南相馬市です。こうした地域に於ける乗用車・商用車のエンドユーザー市場、さらに大型車および重機・建機の市場を分析した上で、あらたな事業展開を組み立てることになります。

IoT整備の先進性・メリットを損害保険に携わる企業や団体へアピールしたり、一般ユーザーとのダイレクトチャネルを活かして受注を増やしたりします。また、世界の有名ブランドに象徴される輸入車・高級スポーツカーの受け入れ促進も図ります。グループ連

携の強みを生かし、保有する機械設備とノウハウの優位性を広域的にPRします。より良質なサービスの新次元を目指し、地元の大型車ディーラーとは引き続き、円滑なリレーションを深めます。

Comment

仕事観、スキル、
経験値を次代
へ引き継ぐ

代表取締役
荒井 宏 治



フレーム修正機に備わっている機能とポテンシャルに期待しています。これまでとは発想も、やり方も大きく異なる現場作業となりますが、まったく別次元で高品位な塗装や整備が可能となります。まだ過渡的な段階なので研究開発、テスト作業を積みながら、スタッフのスキルも経験値も次代へ引き継げるはず。復興を巡る地域の動きは、当社にとって追い風です。港湾やエネルギー基地の整備・稼働を受け、大型車両の運行が増大すると見られます。地の利を生かし、さらなる整備車両の入庫に努めます。